

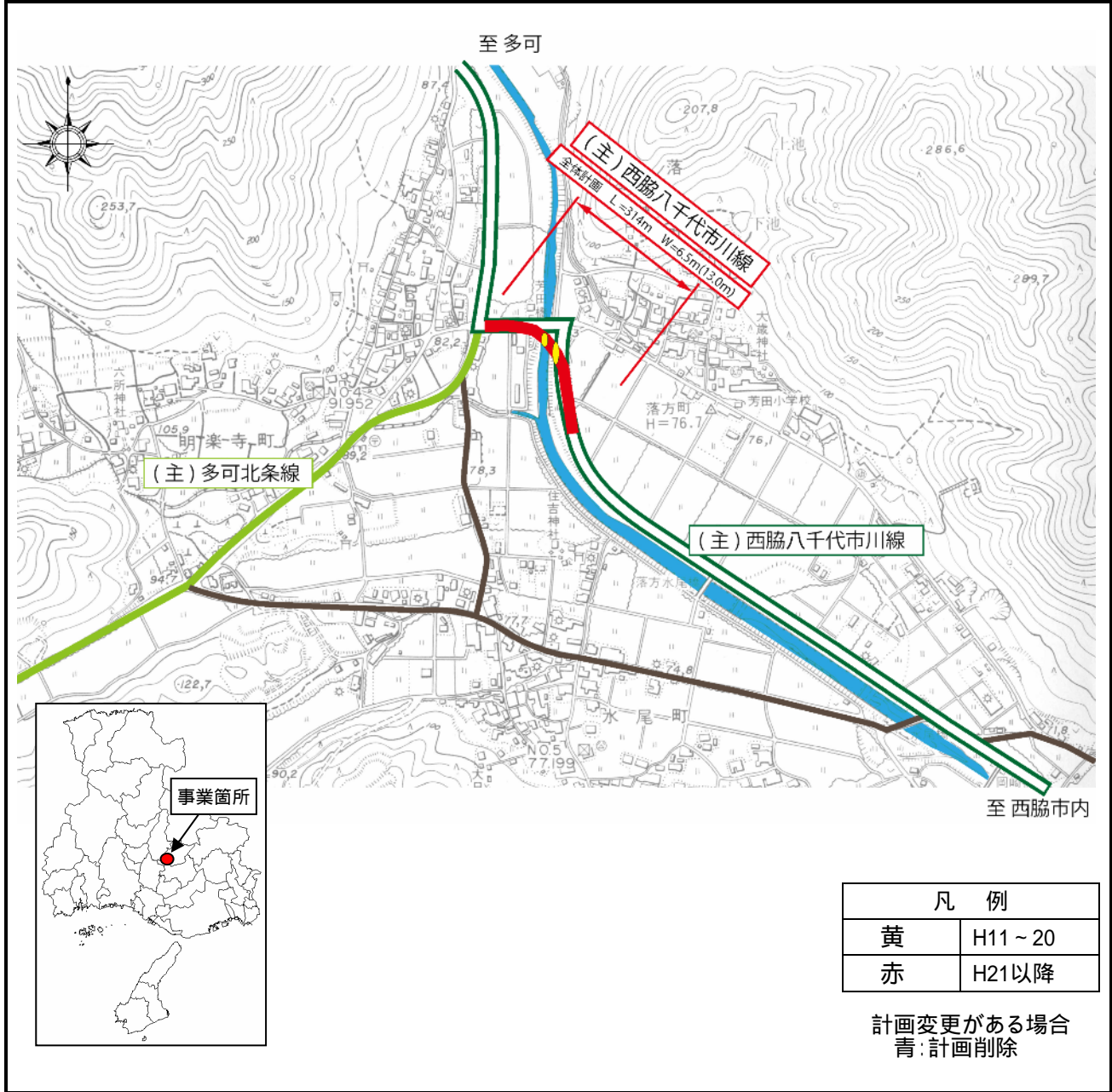
投資事業評価調書（継続：再評価）

部課室名	県土整備部土木局 地域道路室	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	地域道路室長 中村 誠 (橋梁・市町道係長 谷口 徳男)	内線	4362 (4379)
------	-------------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	道路	事業名		事業区間		総事業費	5.2億円
		永久橋架換事業 (主)西脇八千代市川線(芳田橋)		西脇市落方町～ 西脇市明楽寺町		内地補償費	1.1億円
所在地			事業採択 年度	着工年度	完成予定 年度	進捗率 (内用補進捗率)	約33% (約74%)
西脇市落方町～西脇市明楽寺町			平成11年度	平成12年度	平成24年度	残事業費	3.5億円
事業の目的				事業内容			
<ul style="list-style-type: none"> 本路線は、西脇市と市川町を結ぶ重要な生活幹線道路であり、その機能を強化し、地域間の交流を促し産業経済の発展を図る。 幅員狭小で老朽化が著しい芳田橋(昭和6年架設)を架け換え、安全で円滑な交通の確保を図る。 片側歩道を両側に歩道設置することにより、通学児童の安全性向上を図る。 (一)野間川河川改修事業に併せて、阻害橋梁を整備することにより、治水の安全度を高める。 				橋梁架け換え L=314m(うち橋梁部L=63.8m) 【道路規格】 第3種第2級 【設計速度】 50km/h 【計画幅員】 6.5m(13.0m) (2車線+両側歩道(拡幅量含まず)) 【現況幅員】 有効幅員4.8m 【計画交通量】 4,900台/日(H42) 【現況交通量】 5,041台/日(H17センサス) 【自転車歩行者交通量】 64人/12h、242台/12h 【負担割合】 県10/10 (アロケ率)河川0.178:道路0.822			
事業を取り巻く社会経済情勢等の変化		<ul style="list-style-type: none"> 近年の厳しい財政事情を踏まえ、橋梁構造等の検討を重ね、ライフサイクルコストの縮減を図った。 					
進捗状況		<ul style="list-style-type: none"> 難航していたガソリンスタンドの用地交渉の目処がつき、平成19年度に工事を着手し、橋梁A2橋台を竣工した。 平成20年度末の進捗率は、用地買収74%、工事23% 					
評価視点		評価結果の説明					
(1)必要性		<ul style="list-style-type: none"> 昭和初期に建設された老朽化が著しい当橋梁を架け換えることにより、円滑かつ安全な交通を確保する。 河川断面阻害率が17%と高く改善が求められている。 第二次救急医療機関である西脇病院へのアクセス向上を図る。 					
(2)有効性・効率性		<ul style="list-style-type: none"> 狭小幅員橋梁と屈曲している現道を改良することにより、自動車走行性や安全性向上の他、両側歩道整備により歩行者の交通環境改善が図れる。 事業計画に対し、関係機関や地元住民の理解が得られており、協力体制が整っている。 					
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 本路線の整備により、主交通での一旦停止および狭小幅員が解消されるため、自動車走行速度の向上によってCO2排出量が削減でき、地域の環境改善に寄与できる。 					
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 早期の整備によって、多発する交通事故の損失を解消することが重要である。 橋梁A2橋台が施工済みであり、平成24年供用を目標としている。 					
再評価の結果	継続	左の理由	<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性は事業採択当時と変わらず、地域住民からも早期完成を望む声強いことから、継続して事業を実施する必要がある。 				

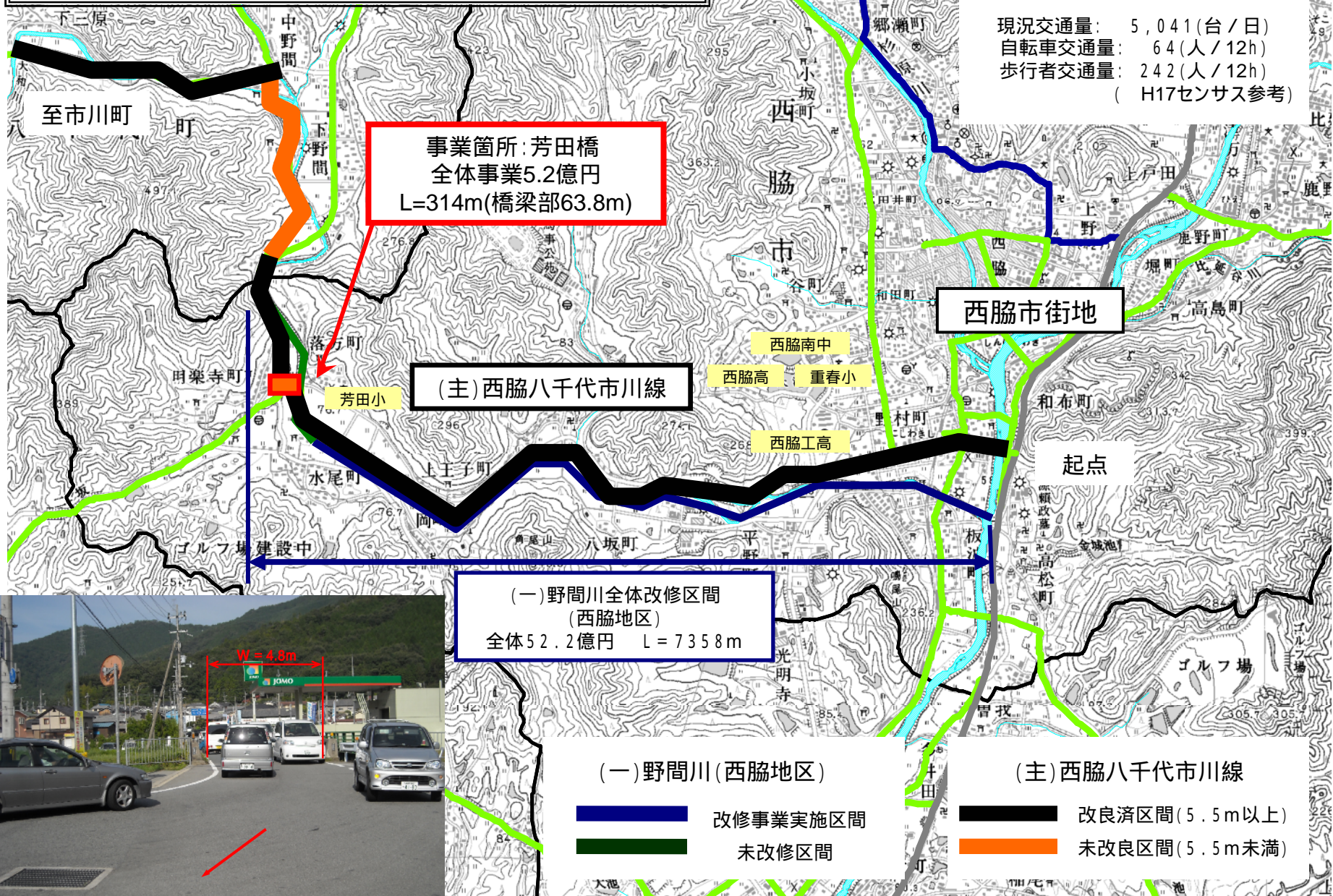
事業進捗状況概要図（継続：再評価）

事業名	永久橋架換事業	路線・河川名	主要地方道 西脇八千代市川線
-----	---------	--------	----------------



	事業進捗状況・予定	整備効果
全体	H11～24年度【事業費 = 5.2億円】 道路改良 L = 314m（うち橋梁部 L = 63.8m） 物件補償5件、用地買収A=3,300㎡ 橋台2基、橋脚1基、上部工、護岸工、取付道路、旧橋撤去	/
過去 10年間 (実績)	H11～20年度【事業費 = 1.7億円】 測量調査、詳細設計、物件補償3件、用地買収 A=2400㎡ 橋台1基、橋脚1基、護岸工A = 480㎡	
今後 4年間 (予定)	H21～24年度【事業費 = 3.5億円】 物件補償2件、用地買収 A=895㎡ 橋台1基、上部工、護岸工A = 1,200㎡ 取付道路L = 251m、旧橋撤去 L = 23.5m	幅員狭小で老朽化が著しい芳田橋を架け換え、安全で円滑な交通の確保を図る。

(主)西脇八千代市川線 道路ルート図







現況交通量: 5,041(台/日)
 自転車交通量: 64(人/12h)
 歩行者交通量: 242(人/12h)
 (H17センサス参考)

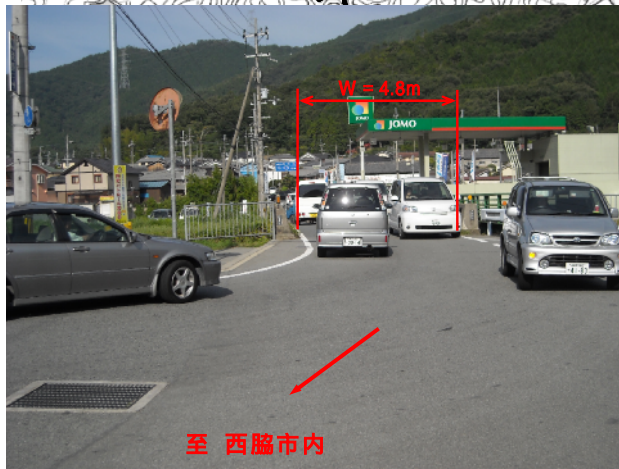
事業箇所: 芳田橋
 全体事業5.2億円
 L=314m(橋梁部63.8m)

(主)西脇八千代市川線

(一)野間川全体改修区間
 (西脇地区)
 全体52.2億円 L = 7358m

(一)野間川(西脇地区)
 改修事業実施区間
 未改修区間

(主)西脇八千代市川線
 改良済区間(5.5m以上)
 未改良区間(5.5m未満)



芳田橋:老朽化の状況

架設年度:昭和6年

車道幅員:4.8m

幅員狭小で、ひびわれや剥離などの損傷が見られる



高欄コンクリートの剥離と露筋の状況



橋台のひびわれ、漏水の状況



橋脚コンクリートの剥離と露筋の状況



橋脚コンクリートの剥離とひびわれの状況

(主)西脇八千代市川線 事故状況と事業進捗

